

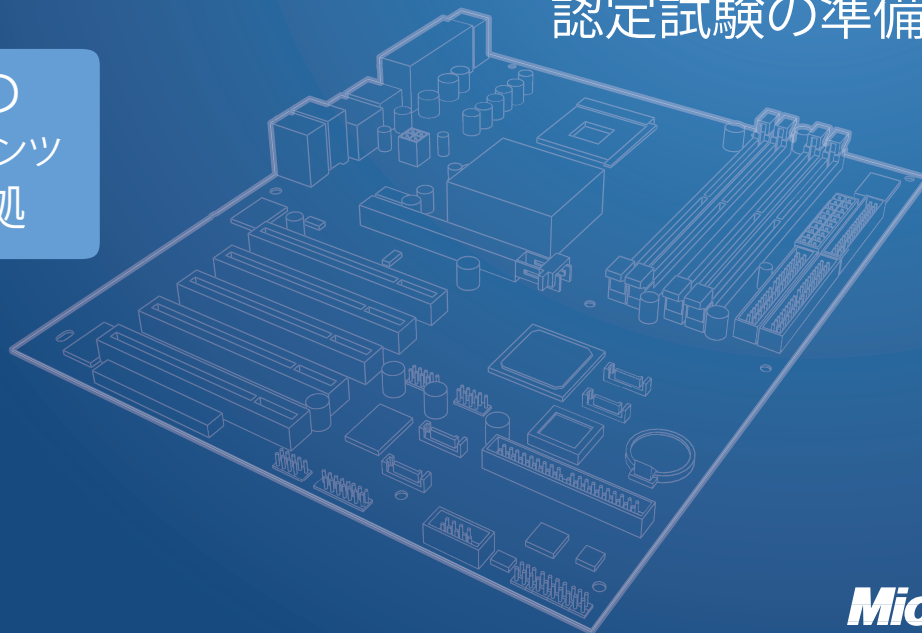


Windows® Embedded CE 6.0

準備キット

認定試験の準備

最新の
R2 コンテンツ
に準拠



出版元

Microsoft Corporation
One Microsoft Way
Redmond, Washington 98052-6399

このドキュメントは参照情報としてのみの目的のものです。マイクロソフトはこのドキュメントにある情報について何らかの直接の、間接のまたは法的な保証はしません。このドキュメントに含まれている情報は論じられている問題についてのその発行の時点で最新のマイクロソフトの見解を表しています。マイクロソフトは変化する市場環境に対応すべきであるため、その情報はマイクロソフト側の公約として解釈されるべきではなく、マイクロソフトは提出されたいかなる情報についても発行後のある時点における正確性を保証しかねます。URL やその他のインターネット ウェブ サイト参照資料を含むこのドキュメント中の情報は予告なしに変更されることがあります。

すべての適用可能な法律を順守することはユーザーの責任です。マイクロソフトの明確な書面での許可があるときを除き、著作権下での権利の制限なしにこのドキュメントの一部を複製したり、検索システムに保存または提出したり、何らかの形でまた何らかの方法で（電子的に、機械的に、写真複写で、録画して、あるいは他の方法で）あるいは何らかの目的のために送信することを禁じます。マイクロソフトはこのドキュメント中の資料を扱う特許権、特許権を持つアプリケーション、商標、著作権、あるいは他の知的財産権を有している可能性があります。マイクロソフトからの何らかの書面での使用許可承諾書で明確に供給された場合を除き、このドキュメントの供給はユーザーにこれら特許権、商標、著作権、あるいは他の知的財産権への何らかの使用許可を与えるものではありません。

Copyright © 2008 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft、ActiveSync、IntelliSense、Internet Explorer、MSDN、Visual Studio、Win32、Windows、Windows Mobile は、Microsoft 関連企業の商標です。ここで言及された実際の企業や製品の名前はそれら各所有者の商標である可能性があります。

別途記載されている場合を除き、ここで示されている参考例の企業、組織、製品、ドメイン名、電子メールアドレス、ロゴ、人、場所、あるいはイベントは仮想のものであり、何らかの実際の企業、組織、製品、ドメイン名、電子メールアドレス、ロゴ、人、場所あるいはイベントとの関連は意図されておらず、また推測されるべきでもありません。

データ取得編集者： Sondra Webber、Microsoft Corporation

筆者： Nicolas Besson、Adeneo Corporation
Ray Marcilla、Adeneo Corporation
Rajesh Kakde、Adeneo Corporation

著作指導： Warren Lubow、Adeneo Corporation

技術レビューア： Brigitte Huang、Microsoft Corporation

編集出版： Biblioso Corporation

本体番号 3043-GA1

Body Part No. 098-109627

目次一覧

はじめに	xi
序文	xvii
1 オペレーティングシステムのカスタマイズ	1
2 ランタイムイメージのビルドおよび展開	39
3 システムのプログラミング	85
4 システムのデバッグおよびテスト	153
5 ボード サポート パッケージのカスタマイズ	207
6 デバイス ドライバを開発する	251
用語集	323
索引	327
著者について	347

用語集

アプリケーションプログラミング インターフェイス (API) API はオペレーティング システムやライブラリがアプリケーション プログラムからの要求をサポートするために提供する機能インターフェイス。

アプリケーション検証 (AppVerifier)

AppVerifier は、開発者が通常のアプリケーション テストでは識別しにくいヒープの破損や正しくないハンドル使用法など、微妙なプログラミング エラーを発見するのに役立つ。

同期アクセス 2つかそれ以上のスレッドが、同時に同じバッファにアクセスしたとき。

バイナリ イメージビルダ (.bib) bib ファイルはランタイム イメージに含まれるモジュールとファイルを定義。

ブートローダー プロセッサ起動時にプロセッサを初期化してその後オペレーティング システムを起動させるために実行されるコードの構成要素。

ボードサポートパッケージ (BSP) BSP はすべてのボード ハードウェア特有コードの一般名。典型的にはブート ロード、OEM アダプテーション層 (OAL)、またボード特有デバイスドライバを含みます。

カタログ ユーザーに OS デザインのために選択可能な機能を提出するコンポーネントのコンテナ。

デバッグ拡張子コマンド (CEDebugX)

CeDebugX は Platform Builder デバッグのための拡張子。休止時のシステムの状態について詳細な情報を提出し、クラッシュ、ハングやデッドロックを診断しようとします。

Windows Embedded CE 試験キット (CETK)

CETK は Windows Embedded CE オペレーティング システムのために開発したデバイス ドライバを試験することのできるツール。

複製 複製することによってファイルの精密なコピーを生成し、変更を実行する前にそれらの安全なコピーを保管。[PUBLIC] フォルダ中のコードは常に変更を行なう前に複製される必要があります。

コンポーネント カタログを使用しながら OS デザインに加えたりそこから除いたりすることができる CE 機能。

コア接続 (CoreCon) Windows CE はダウンロードやデバッグのための多機能接続を有効にする、コア接続と呼ばれる統合接続インフラストラクチャをサポート。

クリティカルセクション ミューテックス オブジェクトと同様の同期プロセスを持つオブジェクト。違いはクリティカルセクションは単一プロセスのスレッドによってのみアクセスされることです。

データ マーシャリング 異なったプロセスでのデータのアクセス権と妥当性をチェックするデータ上で行なわれるプロセス。

デバッグ領域 特定の機能やドライバのモードに関連してデバッグ メッセージを有効または無効にするフラグ。

デバイス ドライバ デバイス ドライバは物理または仮想デバイスの機能を抽象することによってデバイス操作を管理するソフトウェア。

Dirs ファイル Dirs ファイルはビルドされるソース コードを含むサブディレクトリを特定するテキスト ファイル。

埋め込みポインタ メモリ構造に埋め込まれたポインタ。

環境変数 機能を有効または無効にすることができる Windows 環境変数。これは一般的にカタログからビルドシステムや OS デザインを設定するのに使用されます。

イベント システム中の他のスレッドを通知するためにスレッドやカーネルで使用される同期オブジェクト。

例外 例外はプログラムが実行している間に起こる異常な状況。

Iltiming Iltiming は Windows Embedded CE システムで割り込みサービス ルーチン (ISR) や割り込みサービス スレッド (IST) 待ち時間を決定する。

割り込み プロセスを要求する何かが発生したことを表示するために一時的にシステムを中断する (システムに割り込む) トリガ。システム上の各割り込みは特定の割り込み要求 (IRQ) 値と関連付けられ、この IRQ 値は 1 つかそれ以上の割り込みサービス ルーチン (ISR) と関連付けられています。

割り込みサービス ルーチン (ISR) ISR はハードウェアが割り込みに応答して起動するソフトウェアのルーチン。ISR は割り込みを検査して SYSINTR 値を返すことによってそれを処理する方法を決定します。この SYSINTR 値がその後割り込みサービス スレッド (IST) と関連付けられます。

割り込みサービス スレッド (IST) IST は割り込みプロセスのほとんどを行なうスレッド。OS が処理するための割り込みを受けると OS は IST を起動します。各 IST が SYSINTR 値と関連付けられた後、SYSINTR 値は割り込みサービス ルーチン (ISR) から返されることがあり、その後関連付けられた IST が実行します。

IRQ (割り込み要求) IRQ 値は、割り込みでハードウェアと関連付けられる。各 IRQ 値は 1

つかそれ以上の、それが起動させられたときに関連付けられた割り込みを処理するためにシステムが実行する割り込みサービス ルーチン (ISR) と関連付けることができます。

カーネルデバッガ カーネル デバッガはターゲット デバイスへの接続を設定したり、ターゲット デバイスにランタイム イメージをダウンロードしたりするために要求される機能を統合。それはオペレーティングシステム、ドライバ、またアプリケーションのデバッガを許可します。

Kernel Independent Transport Layer (KITL)

KITL は、デバッガサービスをサポートするための簡便な方法を提供するために設計されました。

カーネル モード ドライバ カーネルのメモリ領域で実行するドライバ。

カーネルトラッカ このツールは OS の開発ワークステーション上や Windows Embedded CE ベースのデバイスで生じているアプリケーション イベントの視覚表現を提供。

複数層ドライバ 後日のメンテナンスや再利用を容易にするためにいくつかの層に分けられたドライバ。

モデルデバイス ドライバ (MDD) 複数層ドライバの MDD 層は OS とプラットフォーム デバイス ドライバ (PDD) 層に規格化されたインターフェイスを持ち、ドライバに関連したすべてのハードウェア依存プロセスを実行。

モノリシック ドライバ 異なった層に分けられていないドライバ。それはまた、そのドライバが独自の層デザインを持っているとしても、CE の標準モデル デバイス ドライバ (MDD) やプラットフォーム デバイス ドライバ (PDD) 層アーキテクチャに合致しないドライバを意味することもあります。

ミューテックス ミューテックス オブジェクトはそれが何らかのスレッドに所有されていないときは信号がオンに、所有されているときには信号がオフになるように状態が設定されてい

る同期オブジェクト。ミューテックスは、同時に1つのスレッドにのみ所有されることができ、それはグローバル変数やハードウェアデバイスといった、ある時点で1つのスレッドにのみアクセスされるべきリソースを表現するのに使用されます。

ネイティブドライバ タッチスクリーン、キーボード、またディスプレイドライバのみが Windows Embedded CE でネイティブドライバとして存在し、デバイスマネージャではなく GWES によって管理される。

OEM アダプテーション層 (OAL) OAL は Windows Embedded CE カーネルとターゲットデバイスのハードウェアの間に理論的に存在するコードの層。物理的に OAL はカーネルの実行可能ファイルを作成するためにカーネルライブラリとリンクしています。

オペレーティングシステムベンチマーク (OSBench) スケジューラの性能を測るために使用されるツール。

OS デザイン Windows Embedded CE6 R2 オペレーティングシステムのカスタマイズされたバイナリランタイムイメージを生成する Windows Embedded CE6 R2 用 Platform Builder プロジェクト。

プラットフォームデバイスドライバ (PDD) 複数層ドライバの PDD 層はハードウェアと直接インターフェイスを持ち、ハードウェア特有のプロセスを実行。

電源管理 システム全体また各ドライバに D0 (完全にオン) から D4 (完全にオフ) までの電源状態を割り当てることによって、システムの電力消費を制御する。それはユーザーとシステムの活動や特定の要求に基づいてこれらの状態間の切り替えを調整します。

プロセス プロセスは Windows Embedded CE のプログラム。各プロセスは複数のスレッドを持つことが可能です。プロセスはユーザー領域でもカーネル領域でも実行することができます。

生産品質 OAL (PQOAL) PQOAL は OAL 開発のプロセスを単純化し短縮する規格化された OAL 構造。それはコードライブラリを通して改良されたレベルの OAL コンポーネント化、コード再利用をサポートするディレクトリ構造、集中設定ファイル、またプロセッサファミリとハードウェアプラットフォームで一貫したアーキテクチャを提供します。

Quick Fix Engineering (QFE) マイクロソフトのウェブサイトから入手可能な Windows Embedded CE のパッチ。それらはバグを修正し新しい機能を提供します。

リフレクタサービス 代わりに要求を実行することでユーザーモードドライバがカーネルとハードウェアにアクセスできるようにするサービス。

レジストリ ハードウェアとソフトウェアコンポーネントのための設定情報を含む Windows Embedded CE のための情報ストア。

リモートパフォーマンスモニタ このアプリケーションはオペレーティングシステムのリアルタイム性能を追跡可能。それはまたメモリ使用、ネットワーク待ち時間、またその他の要素も追跡できます。

ランタイムイメージ ハードウェアデバイス上で配置されるバイナリファイル。それはまたアプリケーションとドライバのための完全なオペレーティングシステムの要求されるファイルも含んでいます。

セマフォ セマフォオブジェクトは決まった数の同時発生スレッドのみがそれにアクセスできるようにすることで、ハードウェアやソフトウェアリソースへのアクセスを保護する同期オブジェクト。セマフォはゼロから特定の最大値までの間のカウントを保ちます。カウントはスレッドがセマフォオブジェクトの待ちを完了するたびに減少し、スレッドがセマフォを放出するたびに増加します。カウントがゼロになると、スレッドはセマフォによって保護されたリソースにアクセスできなくなります。セマ

フォの状態はそのカウントがゼロより大きくなったとき信号がオンに、そのカウントがゼロになったときに信号がオフになるように設定されています。

シェル シェルはユーザーの操作をデバイスと解釈するためのソフトウェア。デバイスが起動したときにそれは起動します。既定のシェルは AYGShell と呼ばれ、Windows のデスクトップバージョンのものと同じようにデスクトップ、[スタート]メニュー、そしてタスクバーを含みません。

ソフトウェア開発キット (SDK) 第三者開発者がカスタマイズされた Windows Embedded CE6 R2 ランタイム イメージのためのアプリケーションを作ることを可能にするために使用される。

ソースファイル ソースファイルはサブディレクトリのソースコードのためのマクロ定義を設定するテキストファイル。Build.exe がソースコードのコンパイルとリンクの方法を決定するためにこれらのマクロ定義を使用します。

ストリームインターフェイスドライバ ストリームインターフェイスドライバは、ドライバにより制御されるデバイスのタイプに係わりなく、ストリームインターフェイス機能に関係するすべてのドライバを指します。GWES によって管理されるネイティブドライバ以外のすべてのドライバはストリームインターフェイスをエクスポートします。

サブプロジェクト OSDesign で容易に集積し、削除し、また再利用できるファイルのセット。

同期オブジェクト 同期オブジェクトは複数のスレッドの実行を調整するためにそのハンドルが待機機能の1つに特定され得るオブジェクト。

同期アクセス 2つかそれ以上の別のスレッドが同じバッファを使用して動作しているとき。ある時点では1つのスレッドのみがバッファにアクセスでき、その他のスレッドは現在のスレッドのアクセスが完了するまでアクセスできません。

システム生成 システム生成フェーズはパブリックおよび BSP フォルダをフィルタ処理するために行なわれるビルドプロセスの最初の段階です。それは OS デザインで選択されたコンポーネントと関連付けられたファイルを識別します。このフェーズの間、OS デザインで選択されたコンポーネントは実行可能にリンクされ、OS デザインのフォルダにコピーされます。

システム生成変数 選択された CE 機能が一緒にリンクされる CE ビルドプロセスのシステム生成フェーズへの命令。

Sysintr IRQ に対応する値。関連付けられたイベントに信号を送るのに使用されます。この値は割り込みの応答として割り込みサービスルーチン (ISR) によって返されます。

ターゲット制御シェル デバッガ コマンドへのアクセスを提供する Platform Builder for Visual Studio でのシェル。ターゲット制御シェルは KITL を通じてターゲットシステムに接続されたとき入手可能になります。

スレッド スケジューラがオペレーティングシステムで管理できる最小のソフトウェアユニット。1つのドライバやアプリケーションに複数のスレッドが存在することができます。

ユーザーモード ユーザーモードで読み込まれたドライバとすべてのアプリケーションはユーザーメモリ領域で実行する。それらがこのモードにあるとき、ドライバとアプリケーションはハードウェアメモリに直接のアクセスを持たず、特定の API とカーネルに制限されたアクセスを持ちます。

仮想メモリ 仮想メモリはそれを使用するプロセスへ、連続しているように見せるためにシステムの物理メモリを抽象する方法。Windows Embedded CE 6.0 R2 の各プロセスは利用可能な 2 ギガバイトの仮想メモリスペースを持ち、プロセスから物理メモリにアクセスするため、このメモリは MmMapIoSpace か OALPAtVA を使用してプロセスの仮想アドレススペースにマップされる必要があります。

索引

.bib ファイルのセクション 50
 CONFIG セクション 52
 MEMORY 51
.NET Compact Framework 2.0 4, 31
.NET Compact Framework 2.0 要素 4
.pbcxml ファイル 23
.tks ファイル。テスト キット スイート (.tks) ファイルを参照
/base リンカ設定を重視 53
32 プロセス制限 230
 10
3rdParty フォルダ 24
4 GB アドレス領域 230

A

ActivateDevice 関数 269
ActivateDeviceEx 関数 269
ActiveSync 4, 31, 187
ADEFINES 指示子 65
AdvertiseInterface 関数 275, 296
AllocPhysMem 関数 236, 291, 302
API。アプリケーション プログラミング インターフェイス (API) を参照
ARM ベース プラットフォーム 233
ASSERTMSG マクロ 159
ATM 自動預金受払機 (ATM) を参照
Autoexit パラメータ 191
AUTOSIZE パラメータ 52

B

BinFS。バイナリ ROM イメージ ファイル システム (BinFS) を参照
black シェル 107
BLCOMMON フレームワーク 197
Bluetooth 31
BootArgs。ブート引数 (BootArgs) を参照
BOOTJUMP パラメータ 53
BootLoaderMain 関数 219
BOOTME パケット 222
Bootpart 198
BSP 開発 26
BSP 開発時間の短縮 211
Bsp_cfg.h ファイル 288
BSPIntrInit 関数 289
BSP。ボード サポート パッケージ (BSP) を参照

Build ツール (Build.exe) 61
Build.err ファイル 67, 69
Build.log ファイル 67
Build.wrn ファイル 67
Buildrel エラー 70
BuiltIn レジストリ キー 272
BusEnum。バス列挙子 (BusEnum) を参照
BusTransBusAddrToVirtual 関数 312

C

C インターフェイス 105
CAN。コントローラ エリア ネットワーク (CAN) を参照
CDEFINES エントリ 26
CDEFINES 指示子 65
CE 6.0 OS デザイン テンプレート。デザイン テンプレートを参照
CE システム生成フォルダ 12
CE ストレス ツール 188
CE ターゲット コントロール シェル (CESH) 155
CE ダンプ ファイル リーダー 74, 170, 178
Ce.bib ファイル 50, 60
CeAllocAsynchronousBuffer 関数 307
CeAllocDuplicateBuffer 関数 308
CeCallUserProc 関数 279
CeCloseCallerBuffer 関数 305, 308
CEDebugX。デバッグ拡張コマンド (CEDebugX) を参照
CeFreeAsynchronousBuffer 関数 307
CeFreeDuplicateBuffer 関数 308
CeLog イベント追跡システム 172
 Remote Kernel Tracker ツール 173
 参照名マッチング 175
 シップビルド 173
CELogFlush ツール 173
CeOpenCallerBuffer 関数 305, 308
CESH。CE ターゲット コントロール シェル (CESH) を参照
CETest.exe。開発サーバー アプリケーション (CETest.exe) を参照
CETK テスト結果を分析 194
CETK パーサー (Cetkpar.exe) 194
CETK。Microsoft Windows CE テスト キット (CETK) 用 Windows Embedded CE カスタム テスト コンポーネントを参照
Chain.bin ファイル 54
Chain.lst ファイル 54
CLR。共通言語ランタイム (CLR) を参照
Common.bib ファイル 50
COMPRESSION パラメータ 53

CONFIG セクション 52, 88
 Config.bib ファイル 88, 235, 282, 302
 Console レジストリ パラメータ 102
 copylink 10
 CoreCon。コア接続 (CoreCon) を参照
 CPIApplet API 105
 CPU アクセス可能メモリ 196
 CPU モニタ 188
 CPU 依存ユーザー カーネル データ 233
 CreateFile 関数 268
 CreateInstance 関数 292
 CreateProcess 関数 279
 CSV。カンマ区切り値 (CSV) を参照

D

DbgMsg 機能。デバッグ メッセージ (DbgMsg) 機能を参照
 DBGPARAM 変数 160
 DDI。デバイス ドライバ インターフェイス (DDI) を参照
 DDKPCIINFO 構造 312
 DDKReg_GetPciInfo 関数 312
 DDKReg_GetWindowInfo 関数 312
 DDKWINDOWINFO 構造 312
 DeactivateDevice 関数 269
 DEBUGLED マクロ 159
 DEBUGMSG マクロ 159
 DefaultSuite パラメータ 191
 DEFFILE 指示子 65
 DependXX エントリ 99
 DestroyInstance 関数 292
 DEVFLAGS_LOADLIBRARY フラグ 88
 DeviceIoControl 関数 258, 304
 DevicePowerNotify 関数 295
 DHCP。動的ホスト構成プロトコル (DHCP) を参照
 DIRS キーワード 61
 DIRS ファイル 61
 DIRS_CE キーワード 61
 DLLENTY 指示子 65
 DllMain 関数 253
 DLL。ダイナミック リンク ライブラリ (DLL) を参照
 dpCurSettings 変数 164
 DRIVER_GLOBALS 構造 237
 DriverDetect パラメータ 191
 DriversBuiltIn レジストリ キー 272
 DRV_GLB。ドライバ グローバル (DRV_GLB) を参照
 DYNLINK 指示子 64

E

Eboot 198
 Eboot.bib ファイル 216
 Enterprise Terminal 4

Enterprise Terminal デザイン テンプレート 103
 EnumDevices 関数 278
 ERRORMSG マクロ 159
 Ethdbg ブート ローダー 215
 eXDI。Extended Debugging Interface (eXDI) を参照
 EXEENTRY 指示子 65
 export " C" {} ブロック 105
 Extended Debugging Interface (eXDI) 157
 Extensible Data Interchange (XDI) 74
 Extensible Resource Identifier (XRI) 74

F

FILES セクション 54
 Filesys.exe 59, 241
 FileSystemPowerFunction 241
 FIQ。高速割り込み (FIQ) 行を参照
 FIXUPVAR パラメータ 53
 FMerge ツール (FMerge.exe) 71
 FMerge.exe。FMerge ツール (FMerge.exe) を参照
 ForceDuplicate パラメータ 306
 FreeIntChainHandler 関数 292
 FreePhysMem 関数 236
 FSRAMPERCENT パラメータ 53

G

General Purpose Input/Output (GPIO) 95
 Getappverif_cetk.bat ファイル 171
 GetProcAddress API 254
 GIISR。汎用インストール可能 ISR (GIISR) を参照
 GPIO。General Purpose Input/Output (GPIO) を参照
 Graphical Windows Event System (GWES) 89, 98
 GUID。グローバル一意識別子 (GUID) を参照
 GUI。グラフィック ユーザー インターフェイス (GUI) を参照
 GwesPowerOffSystem 関数 240
 GWES。Graphical Windows Event System (GWES) を参照

H

H フラグ 282
 HalTranslateBusAddress 関数 302
 HdStub。ハードウェア デバッガ スタブ (HdStub) を参照
 Heap Walker 155
 HookInterrupt 関数 288

I

Iclass 値 275, 296
 IDE。統合化開発環境 (IDE) を参照
 Idle 電源状態 88

IEEE。Institute of Electrical and Electronic Engineers (IEEE) を参照

IISR。インストール可能 ISR (IISR) を参照

ILTiming ツール 90

パラメータ 91

IL 測定。割り込み待機時間測定 (ILTiming) ツールを参照

IMGNODEBUGGER 環境変数 177

IMGNOKITL 環境変数 177

INCLUDES 指示子 64

INIT レジストリ キー 98

Initdb.ini ファイル 60

Initobj.dat ファイル 59

Institute of Electrical and Electronic Engineers (IEEE) 196

IntelliSense 67

Internet Explorer 4

サンプル ブラウザ カテゴリ項目 34

シンクライアント シェル 103

InterruptDone 関数 285

InterruptInitialize 関数 287

IOControl 関数 254, 292, 296

IP アドレスの構成 101

IPv6 4

ISR の遅延 90

ISR 待機時間 227

ISRHandler 関数 292

ISR。割り込みサービス ルーチン (ISR) を参照

IST 待機時間 227

IST 遅延 90

IST。割り込みサービス スレッド (IST) を参照

J

Joint Test Action Group (JTAG) プロープ 178, 196

JTAG プロープ。Joint Test Action Group (JTAG) プロープ を参照

K

K フラグ 282

Kato ログング エンジン 192

Kato.exe。テスト結果ロガー (Kato.exe) を参照

KdStub 74, 156, 178

Kernel Independent Transport Layer (KITL)

操作方法 180

ターゲット コントロール アーキテクチャ 156

通信インターフェイス 179

ブート引数 180

有効 179

Kernel Tracker 155

KERNELFIXUPS パラメータ 53

KernelIoControl 関数 237, 289

KernelStart 関数 224

KITL

有効にする 10

KITL (Kernel Independent Transport Layer)

トランスポート機構 74

KITL。カーネル独立トランスポート層 (KITL) を参照

L

LAN。ローカル エリア ネットワーク (LAN) を参照

LaunchXX エントリ 99

LDEFINES 指示子 65

LIBRARY 指示子 64

LoadDriver 関数 88, 253

LoadIntChainHandler 関数 285, 291

LoadKernelLibrary 関数 235

LoadLibrary 関数 88, 253

M

MainMemoryEndAddress 関数 236

Makefile ファイル 66

Makeimg.exe。バイナリ イメージ作成ツール (Makeimg.exe) を参照

MDD。モデル デバイス ドライバ (MDD) を参照
memcpy 308

MEMORY セクション 51

Microsoft Visual Studio 2005 3

IntelliSense 67

ウオッチ ウィンドウ 163

エラー一覧ウィンドウ 68

カテゴリ項目ビュー 4

構成管理 6

出力ウィンドウ 68

出力ウィンドウのデバッグ情報 157

接続オプション 72

ソリューション エクスプローラ 5

ターゲット デバイスのデバッグ 180

ビルド ウィンドウを開くコマンド 48

ビルドメニュー 43

ランタイム イメージのビルド 43

ランタイム イメージをビルド 48

Microsoft Windows CE テストキット (CETK) 用 Windows Embedded CE カスタム テスト コンポーネント 15

Microsoft カーネル コード 224

MIPS ベース プラットフォーム 233

MIPS。パイプライン ステージがインターロックされない マイクロプロセッサ (MIPS) を参照

MmMapIoSpace 関数 236, 291, 302

MmUnmapIoSpace 関数 302

MMU。メモリ管理ユニット (MMU) を参照

MODULES および FILES セクションのファイル タイプ定義 56

MODULES セクション 54
My Documents ディレクトリ 59

N

NEWCPINFO 情報 106
NK メモリ領域 282
Nk.bin ファイル 43
NKCallIntChain 関数 291
NKDbgPrintf 関数 158
NKGLOBALS 構造 224
Nmake.exe。コンパイラとリンカ (Nmake.exe) を参照
NOLIBC=1 指示子 293
NOTARGET 指示子 64

O

OALIntrRequestSysIntr 関数 289
OALIntrStaticTranslate 関数 289
Oalioctl.dll 237
OALPAtoVA 関数 291, 302
OALTimerIntrHandler 関数 90
OAL。OEM アダプテーション層 (OAL) を参照
OEM アダプテーション層 (OAL) 3, 211
IOCTL コード 237
OEMInit 関数 226
アーキテクチャの一般的なタスク 224
スタートアップ エントリ ポイント 224
電源管理サポートおよび 238
ドライバとの間で共有されるリソース 236
ブート ローダーとの間でのコード共有 224
プロファイル タイマ サポート関数 227
割り込み管理関数 287
割り込み同期機能 284
OEM アドレス テーブル 223
OEMAddressTable テーブル 223, 235
OEMEthGetFrame 関数 220
OEMEthGetSecs 関数 220
OEMEthSendFrame 関数 220
OEMGetExtensionDRAM 関数 236
OEMGLOBALS 構造 224
OEMIdle 関数 239
OEMInit 関数 226, 284
OEMInitGlobals 関数 224
OEMInterruptDisable 関数 287
OEMInterruptDone 関数 285, 287
OEMInterruptEnable 関数 287
OEMInterruptHandler 関数 287
OEMInterruptHandlerFIQ 関数 288
OEMIoControl 関数 237
OEMNMIHandler 関数 242
OEMPlatformInit ルーチン 220

OEMPowerOff ルーチン 240
OEMReadData 関数 220
OEMWriteDebugLED 関数 159
OEM。相手先ブランド供給 (OEM) を参照
OHCI。Open Host Controller Interface (OHCI) を参照
Open Host Controller Interface (OHCI) 289
OpenDeviceKey 関数 277
OPTIONAL_DIRS キーワード 61
OS Access (OsAxS) 156
OS デザイン ウィザード 3, 5, 13, 31
ボード サポート パッケージ ウィザード ページ 11
標準シェル 103
複数のプラットフォームのサポート 11
OS デザイン。オペレーティング システム (OS) デザインを参照
OS デザインのファイルとディレクトリの構造 12
OS デザインのローカライズ 7
OS デザインを複数の BSP と関連付ける 11
OsAxS。OS Access (OsAxS) を参照
OSBench ツール 90, 92
ソース コード 93
パラメータ 93
OUTPUT パラメータ 53

P

PAN。パーソナル エリア ネットワーク (PAN) を参照
PBCXML。Platform Builder カタログ XML (PBCXML) を参照
PCI。Peripheral Component Interconnect (PCI) を参照
PCMCIA。Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) を参照
PDA デバイス デザイン テンプレート 4, 31
PDA。携帯情報端末 (PDA) を参照
PDD。プラットフォーム デバイス ドライバ (PDD) を参照
PerfToCsv パーサー ツール 194
Peripheral Component Interconnect (PCI) 251
Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) 259
Platform Builder の構成ファイル 12
Platform Builder カタログ XML (PBCXML) 5
Platform Builder 固有のビルド コマンド 47
Platform Builder。Windows Embedded CE 6.0 用 Microsoft Platform Builder を参照
Platform Builder 用設定ファイル 209
Platform.bib ファイル 26, 54
Platform.dat ファイル 59
Platform.reg ファイル 57
pNKEnumExtensionDRAM 関数 236
PortNumber パラメータ 191
POSTLINK_PASS_CMD 指示子 65
PowerOffSystem 関数 241

PQOAL。生産品質 OEM アダプテーション層 (PQOAL) を参照

PRELINK_PASS_CMD 指示子 65

Process Viewer 155

PROFILE パラメータ 53

Program Files ディレクトリ 59

PROGRAM 指示子 64

Project.bib ファイル 50

Project.dat ファイル 59

Prosysgen.bat ファイル 17

Public ソースコード 20

編集 21

Public ツリーの編集 20

Q

Q フラグ 282

QRimplicit-import 293

QueryPerformanceCounter 関数 94

QueryPerformanceFrequency 関数 94

R

RAM バック マップ ファイル 233

RAM ファイル システム 53, 59

RAM_AUTOSIZE パラメータ 53

RAMIMAGE パラメータ 52

RDEFINES 指示子 65

RDP。リモート デスクトップ プロトコル (RDP) を参照

RDP。リモート デスクトップ プロトコル (RDP) を参照

Readlog ツール 174

Reginit.ini ファイル 60

HKEY_LOCAL_MACHINE\Drivers\Active 277

RegisterDevice 関数 269

Reldir ディレクトリ 12

ReleaseSemaphore 関数 120

RELEASETYPE 指示子 64

Remote Kernel Tracker ツール 173

RequestDeviceNotifications 関数 278

RESERVED キーワード 303

RESETVECTOR パラメータ 53

RETAILED マクロ 159

RETAILMSG マクロ 159

ROM Windows ディレクトリ 59

ROM イメージビルダ ツール (Romimage.exe) 50

ROM イメージファイル システム 198

ROM ベース アプリケーション 58

ROM モジュールのみ信頼 53

ROM_AUTOSIZE パラメータ 53

ROMFLAGS オプション 88

ROMFLAGS パラメータ 53

Romimage.exe。ROM イメージビルダ ツール (Romimage.exe) を参照

ROMOFFSET パラメータ 54

ROMSIZE パラメータ 54

ROMSTART パラメータ 54

ROMWIDTH パラメータ 54

RS232 接続 73

S

S フラグ 282

SCM。サービス コントロール マネージャ (SCM) を参照

SDK。ソフトウェア開発キット (SDK) を参照

Serial Peripheral Interface (SPI) 262

ServerIP パラメータ 191

ServerName パラメータ 191

Services.exe。サービス ホスト プロセス (Services.exe) を参照

SetDbgZone 関数 163

SetSystemPowerState 関数 240

SHx ベース プラットフォーム 233

SignalStarted API 99, 108

Simple Windows Embedded CE DLL サブプロジェクト 264

SKIPBUILD 指示子 65

Sleep 関数 88

SOURCELIBS 指示子 64

Sources ファイル 26

ADEFINES 指示子 65

CDEFINES エントリ 26

CDEFINES 指示子 65

DEFFILE 指示子 65

DLENTY 指示子 65

DYNLINK 指示子 64

EXEENTRY 指示子 65

INCLUDES 指示子 64

LDEFINES 指示子 65

LIBRARY 指示子 64

NOTARGET 指示子 64

POSTLINK_PASS_CMD 指示子 65

PRELINK_PASS_CMD 指示子 65

PROGRAM 指示子 64

RDEFINES 指示子 65

RELEASETYPE 指示子 64

SKIPBUILD 指示子 65

SOURCELIBS 指示子 64

SOURCES 指示子 65

TARGETLIBS 指示子 64

TARGETNAME 指示子 64

TARGETPATH 指示子 64

TARGETTYPE 指示子 64

WINCE_OVERRIDE_CFLAGS 指示子 65

WINCECPU 指示子 65

WINCETARGETFILE0 指示子 65
 WINCETARGETFILES 指示子 65
 Sources ファイルの指示子 65
 Sources ファイルの標準指示子 65
 SOURCES 指示子 65
 SPI。Serial Peripheral Interface (SPI) を参照
 SRE パラメータ 54
 StartUp 関数 197
 StartupProcessFolder 関数 100
 Storage Device Block Driver Benchmark Test 190
 SuspendThread 関数 114
 Svcstart サンプル サービス 101
 レジストリ パラメータ 101
 SYSGEN 変数
 条件式の基づく 56
 Sysgen.bat 39
 SYSINTR 値 285, 288
 SYSINTR_NOP 値 286
 SYSINTR_TIMING 割り込みイベント 90

T

TARGETLIBS 指示子 64
 TARGETNAME 指示子 64
 TARGETPATH 指示子 64
 TARGETTYPE 指示子 64
 TARGETTYPE=NOTARGET 17
 TCP/IPv6 サポート 31
 TFTP。簡易ファイル転送プロトコル (TFTP) を参照
 TLB。トランジションルックアサイドバッファ (TLB) を参照
 TransBusAddrToVirtual 関数 302
 TUX DLL テンプレート 192
 Tux.exe。テストエンジン (Tux.exe) を参照

U

UART。Universal Asynchronous Receiver/Transmitter (UART) を参照
 Udevice.exe。ユーザーモードドライバホストプロセス (Udevice.exe) を参照
 UDP。ユーザーデータグラムプロトコル (UDP) を参照
 Universal Asynchronous Receiver/Transmitter (UART) 196
 USB。ユニバーサルシリアルバス (USB) を参照
 UserProcGroup レジストリエントリ 281

V

VirtualAlloc 関数 235, 291, 308
 VirtualCopy 関数 235, 291
 VirtualFree 関数 235
 Visual Studio 2005。Microsoft Visual Studio 2005 を参照

VMM。仮想メモリマネージャ (VMM) を参照

W

WaitForMultipleObjects 関数 288
 WaitForSingleObject 関数 115, 286
 WCE TUX DLL テンプレート 192
 Win32 API 90
 WINCE_OVERRIDE_CFLAGS 指示子 65
 WINCECPU 指示子 65
 WINCEDEBUG 関数変数 158
 WINCETARGETFILE0 指示子 65
 WINCETARGETFILES 指示子 65
 Windows Embedded CE 6.0 R2 用 Platform Builder
 ソフトウェア開発キット (SDK) 28
 Windows Embedded CE 6.0 用 Microsoft Platform
 Builder 1, 39
 Windows Embedded CE 6.0 用 Microsoft Platform Builder
 BSP 複製ウィザード 212
 Heap Walker 155
 Kernel Tracker 155
 OS デザインウィザード 3
 Process Viewer 155
 構成ファイル 12
 サブプロジェクトウィザード 15, 264
 詳細デバッグツール 170
 ターゲットコントロールオプション 167
 ターゲットデバイスの接続オプションダイアログボ
 ックス 72, 178
 デバッグメッセージオプション 158
 デバッグ領域ダイアログボックス 163
 ビルド結果の分析 67
 Windows Embedded CE Test Kit (CETK) 185
 CETK パーサー (Cetkpar.exe) 194
 PerfToCsv パーサーツール 194
 zorch パラメータ 190
 アーキテクチャ 186
 アプリケーション検証ツール 171
 カスタムテスト 189
 概要 185
 クライアント側アプリケーション (Clientside.exe) 186
 コマンドラインパラメータ 190
 スケルトン Tux モジュール 193
 スタンドアロンモード 192
 テストエンジン (Tux.exe) 186
 テストキットスイート (.tks) ファイル 189
 テストスイートエディタ 189
 テスト結果を分析 194
 テスト結果ロガー (Kato.exe) 186
 マネージコード 187
 ユーザー定義テストウィザード 193

ワークステーション サーバー アプリケーション
(CETest.exe) 188
Windows Embedded CE サブプロジェクト ウィザード 15,
264
Windows Embedded CE シェル 102
Windows Embedded CE 標準シェル 103
Windows Network Projector 4
Windows Sockets (Winsock) 186
Windows シン クライアント 4
Windows タスク マネージャ (TaskMan) 104
Windows ディレクトリ 59
Windows ベースの Terminal (WBT) シェル 103
Winsock。Windows Sockets (Winsock) を参照
WMV/MPEG-4 Video Codec 4
WordPad 4
WriteDebugLED 関数 159

X

X86 システム上で X86 TLB をフラッシュ 53
x86 ベース プラットフォーム 233
X86BOOT パラメータ 54
XDI。Extensible Data Interchange (XDI) を参照
XIP チェーン 54
XIPCHAIN パラメータ 54
XIP。エクセキュート インプレイス (XIP) を参照
XML。拡張マークアップ言語 (XML) を参照
XRI。Extensible Resource Identifier (XRI) を参照
XXX_プレフィックス 262
XXX_Init 関数 277
XXX_IOControl 関数 295, 304
XXX_PowerDown 関数 295
XXX_PowerUp 関数 295

Z

zorch パラメータ 190

あ

アーキテクチャの一般的なタスク 224
相手先ブランド供給 (OEM) 207
アイドル スレッド 92
アイドル モード 239
アイドル イベント 238
アクセス チェック 305
アクティビティ タイム 135
アセンブリ言語 198
アドホック ソリューション 23
アドレス テーブル 223
仮想 - 物理 223
アドレス マッピング

アプリケーション デバッグ 157
アプリケーション プログラミング インターフェイス
(API) 11
CPLApplet API 105
GetProcAddress API 254
SignalStarted API 99
Win32 API 90
イベント API 121
インターロック API 121
クリティカル セクション API 117
ストリーム インターフェイス API 257, 260
スレッド管理 API 110
非リアルタイム 89
ファイル システム API 257
プロセス管理 API 110, 137
ミューテックス API 118
アプリケーション検証ツール 171, 188
アプリケーション呼び出しバッファ 303
アプレット 104
アラート 95

い

イーサネット サポート関数 220
イーサネット ダウンロード サービス 73
依存関係の処理 99
一般的なレジストリ エントリ、デバイス ドライバ 274
新しいシステム 230
カーネル領域 230
周辺機器のフレーム バッファおよび 235
初期化 223
静的にマップされたアドレス 234
動的にマップされたアドレス 235
入出力処理および 235
非連続物理メモリおよび 235
マッピング テーブル 223
未キャッシュ 234
ユーザー領域 230
イベント API 121
イベントの追跡 9
イベントログ記録ゾーン 172
イメージ構成ファイル 60
医療モニタ機器 107
インスタンス固有リソース 263
インストール可能 ISR (IISR) 292
DLL 関数 292
アーキテクチャ 292
外部依存関係 293
登録 293
プラグアンドプレイ 292
インターナショナルライゼーション (国際化) 7
既定のロケール 8

コード ページ 8
 ロケール 8
 インターフェイス GUID 275
 動的 289
 インターフェイス マッピング
 インターロック API 121
 インターロックされた API 225

う

ウィンドウズ マネージャ 241
 ウィンドウの描画 89
 ウォッチ ウィンドウ 163, 170
 埋め込みポインタ 300, 304

え

エクセキュート インプレイス (XIP) 231
 エラー レポート生成プログラム カタログ項目 74
 エラー一覧ウィンドウ 68
 エラー発生後のデバッグ 74

お

オーディオ デバイス ドライバレジストリ 274
 オーバーラン バッファ 286
 オープン コンテキスト 263
 オブジェクト ストア 58
 オプション 10
 black シェル 107
 Windows タスク マネージャ (TaskMan) 104
 Windows ベースの Terminal (WBT) シェル 103
 依存関係の処理 99
 インターナショナルライゼーション (国際化) 7
 カーネル オブジェクト 89
 カスタマイズ 5
 環境変数 10
 管理コード開発 35
 キオスク モード™ 107
 言語設定 7
 高度な構成 11
 コマンド プロセッサ シェル 102
 コンポーネント化 97
 再頒布と OS デザイン 12
 作成とカスタマイズ 3
 シェル 102
 システム アプリケーション 97
 シンククライアント シェル 103
 ソース コード 20
 デザイン 1
 デバイス マネージャ 88
 電源管理 88

パフォーマンスの最適化 10
 標準シェル 103
 ビルド オプション 3
 フットプリント 1
 要素 3
 ランタイムイメージ 1
 リアルタイム パフォーマンス 94
 オペレーティングシステム (OS)
 オペレーティングシステム ベンチマーク (OSBench)。
 OSBench を参照
 オペレーティングシステムのフットプリント 1

か

カーネル アクセス チェック 305
 カーネル アドレス領域 231
 カーネル オブジェクト 89
 スレッド同期および 116
 カーネル スタートアップ サポート関数 225
 カーネル デバッグ 10, 157, 177
 KdStub 74, 156
 アプリケーション デバッグ 157
 ランタイム情報を取得 156
 例外処理および 126
 カーネル ドライバの制約 279
 カーネル プロセス (Nk.exe) 303
 カーネル プロファイラ 10
 カーネル メモリ領域 232
 カーネル モード ドライバ 279
 カーネル依存トランスポート層 (KITL)
 カーネル初期化ルーチン 197
 カーネル独立トランスポート層 (KITL) 3
 カーネルの静的マッピング領域 233
 サポート関数 226
 カーネル領域 230
 カーネル割り込みマッピング配列 289
 開始時間の短縮 4
 開発サーバー アプリケーション (CETest.exe) 186
 開発サイクル 153
 埋め込みポインタのマーシャリング 305
 開発ボード機能の実演 4
 拡張マークアップ言語 (XML) 5
 カスタム CETK テスト 192
 カスタム デザインテンプレート 5
 エラー レポート生成 74
 仮想アドレス領域
 仮想アドレス領域
 仮想 - 物理アドレス マッピング 223
 仮想メモリ
 仮想メモリ マネージャ (VMM) 300
 仮想メモリの管理の新しいシステム 230
 仮想メモリの初期化 223

カタログ エディタ
 カタログ システム 23
 カタログ ファイル 23
 カタログからのカタログ項目のエクスポート 26
 カタログ項目 3
 .pbcxml ファイル 23
 3rdParty フォルダ 24
 BSP 開発 26
 ID 25
 Internet Explorer 6.0 サンプル ブラウザ カタログ項目 34
 OS デザインで追加または削除 47
 Public ディレクトリ ツリーから BSP コンポーネントへの変換 22
 Windows Embedded CE 標準シェル 103
 依存関係 27
 エクスポート 26
 カタログ項目複製オプション 21
 管理 23
 作成と編集 24
 条件付き処理の基づく 56
 バックライト ドライバ 27
 東アジア言語 7
 複製 20
 プロパティ 24
 カタログ項目の依存関係 5
 カタログ項目の依存関係ウィンドウ 6
 カタログ項目の検索 5
 カタログ項目ビュー 4, 33
 カタログ項目の検索 5
 カタログ項目複製オプション 21
 フィルタ項目 5
 カタログ項目ビュー ソリューション エクスプローラ 5
 表示項目の依存関係 57
 カタログ項目表示
 カタログのエントリのプロパティ 24
 簡易ファイル転送プロトコル (TFTP) 198
 環境オプション 10
 環境変数 10
 _TARGETPLATROOT 214
 IMGNODEBUGGER 177
 IMGNOKITL 177
 WINCEDEBUG 158
 条件式の基づく 56
 環境変数に基づく指示子 43
 カンマ区切り値 (CSV) 194
 管理コード開発 35

き

キーボード イベント 284
 キオスク モード 107

 マネージ アプリケーション 108
 基幹セクション 89
 既存のスレッド 111
 既定のロケール 8
 起動時にデバッグ領域をオーバーライド 164
 起動の構成 97
 基盤となるハードウェアとオペレーティング システム間の抽象的なレイヤ 253
 逆アセンブリ ツール 171
 境界間のマーシャリング データ 300
 競合条件 155
 共通言語ランタイム (CLR) 108
 共通リソース ディレクトリ 39
 共有割り込みマッピング 291

く

クライアント側アプリケーション (Clientside.exe) 186, 190
 スタンドアロン モード 192
 開始パラメータ 191
 グラフィック ユーザー インターフェイス (GUI) 103
 グラフィックス、ウィンドウ、およびイベント サブシステム (GWES) 253
 クリーン システム生成コマンド 45
 クリティカル オフ状態 238, 242
 クリティカル セクション 116
 クリティカル セクション API 117
 グローバル一意識別子 (GUID) 275

け

携帯情報端末 (PDA) 238
 言語設定 7
 現在の BSP とサブプロジェクトの再構築 26

こ

コア デバッグ ツール 176
 コア接続 (CoreCon) 19
 インフラストラクチャ 72
 ターゲット コントロール アーキテクチャ 156
 トランスポート機構 74
 レイヤのダウンロード 73
 構成管理 6
 構成管理プログラム データベース (.pdb) ファイル 6
 構成マネージャ 11
 高速割り込み (FIQ) 行 288
 高パフォーマンス カウンタ 90
 コード ページ 8
 コード再利用 207
 コードの再利用 207
 コードの再利用性の向上 213

コマンド プロセッサ シェル 102
 コマンドライン ツールに基づくカスタム ビルド アクシ
 ョン 65
 コンシューマ メディア デバイス デザイン テンプレート 4
 コンテキスト管理 263
 オープン コンテキスト 263
 デバイス コンテキスト 263
 コントローラ エリア ネットワーク (CAN) 4
 コントロール パネル 104
 CPIApplet API 105
 NEWCPINFO 情報 106
 コンポーネント 104
 ソース ファイル 106
 メッセージ 106
 コンパイラ エラー 67
 コンパイラ と リンカ (Nmake.exe) 61
 コンパイル フェーズ 41
 コンポーネント 化した オペレーティング システム 97
 コンポーネント の複製 20
 Public ツリーの編集 20
 カタログ項目複製オプション 21, 25
 ボード サポート パッケージ (BSP) および 211

さ

サービス コントロール マネージャ (SCM) 101
 サービス ホスト プロセス (Services.exe) 101
 再開ソース 242
 最近値シンボル一覧 171
 最終構成におけるシステムの検証 153
 最新の正常な構成 58
 サスペンド状態 238, 240
 サスペンド状態からの再開 241
 サブプロジェクト 3
 CreateFile 関数 268
 Dirs ファイル 61
 IOCTL_HAL_REQUEST_SYSINTR および
 IOCTL_HAL_RELEASE_SYSINTR 289
 OEMAddressTable テーブル 223
 OEMPlatformInit 関数 220
 Projsysgen.bat ファイル 17
 TARGETTYPE=NOTARGET 17
 イメージの設定 18
 カスタム設定を再利用 49
 構成 14, 18
 構成ファイル 15
 作成と追加 15
 サブプロジェクト ウィザード 15
 システム生成変数 17
 種類 14
 ストリーム関数の実装 265
 スレッド管理 115

静的ライブラリ 17
 ソースコードなし 17
 ダイナミック リンク ライブラリ (DLL) 17
 デバイス コンテキストの初期化 264
 ドライバを動的にロードする 269
 非同時バッファ アクセス 306
 ランタイム イメージから除く 18
 レジストリ設定 17
 割り込みサービス スレッド (IST) 287
 産業用制御装置 107
 参照名マッチング 175
 サンプル コード
 サンプル デバイス エミュレータ eXDI2 ドライバ 74, 178

し

シェル 102
 black シェル 107
 Windows タスク マネージャ (TaskMan) 104
 Windows ベースの Terminal (WBT) 103
 コマンド プロセッサ セル 102
 シンクライアント シェル 103
 標準シェル 103
 システム アプリケーション 97
 システム スケジューラ 88
 システム タイマ 88
 システム テスト 153, 185
 監視 87
 最適化 87
 リアルタイム オペレーティング システム 87
 システム パフォーマンス
 システム メモリ プール 89
 システム メモリ マッピング 230
 システム メモリの再利用 89
 システム生成キャプチャ ツール 21
 システム生成フェーズ 42
 エラー 69
 システム生成変数 10
 サブプロジェクト 17
 システム電源状態 134
 システムの全体的な健全性診断 168
 システムのテスト 153
 自動化 185
 システムのプログラミング 85
 シブビルド 173
 自動ソフトウェア テスト 185
 自動的なドライバのロード 270
 自動的に開始 97
 自動変数ツール 170
 自動預金受払機 (ATM) 107
 ジャストインタイム (JIT) デバッグ 157
 修復不能なロックアップ 296

周辺機器のフレームバッファ 235
 出力ウィンドウ 68
 条件式およびデバッグ 166
 条件付きファイル処理 56
 詳細デバッガ ツール 170
 詳細なビルド コマンド 26, 45
 現在の BSP とサブプロジェクトの再構築 26
 詳細メモリ ツール 171
 ショートカット ファイル 100
 初期化されていない変数 155
 シリアル デバッグ出力関数 219
 シリアル通信パラメータ 73
 シンクライアント シェル 103
 シンクライアント デザインテンプレート 4
 シンボル 171
 信頼できるイメージ 222

す

スケルトン Tux モジュール 193
 スタート メニュー 59
 スタートアップ フォルダ 100
 制限 101
 スタートアップ レジストリ パラメータ 99
 遅延スタートアップ 101
 スタートアップの構成
 スタベーション 170
 スタンドアロン モード 192
 ストリーム インターフェイス API 260
 ストリーム関数のエクスポート 266
 ストリーム インターフェイス ドライバ 257
 ストリーム ドライバ 253
 CreateFile 関数 268
 XXX_プレフィックス 262
 インスタンス固有リソース 263
 カーネル モードの制約 279
 コンテキスト管理 263
 ストリーム関数のエクスポート 266
 ソース ファイル指示子 267
 デバイス名 259
 名前付け規則 258
 プラグアンドプレイ 257
 レガシ名 259
 ロードおよびアンロード 257, 269
 ロード手順 272
 ストリーム ドライバ。ストリーム インターフェイス ドライバも参照
 ストリーム ドライバの従来の名前付け規則 259
 ストリーム関数のエクスポート 266
 すべてのデバッグ領域を有効化 165
 スモール フットプリント デバイス 87

スモール フットプリント デバイス デザイン テンプレート 4
 スレッド 88
 アイドル 92
 管理機能 111
 既存 111
 再開 114
 作成 111
 終了 111
 スタベーション 170
 中断 114
 同期 109, 116
 不意の同期 166
 優先度 113
 優先度レベル 113
 スレッド ツール 170
 スレッド管理 API 110
 不意 166
 割り込み処理 284
 スレッド同期
 スレッドの再開 114
 スレッドの作成 111
 スレッドの終了 111
 スレッドの中断 114
 スレッド優先順位 88

せ

生産品質 OEM アダプテーション層 (PQOAL) 207
 高度なデバッガ ツール 211
 脆弱性 305
 静的にマップされた仮想アドレス 234
 静的ライブラリ 17
 制約、電源管理 296
 接続オプション 72
 セマフォ 119
 ReleaseSemaphore 関数 120

そ

ソース コード 20
 Eboot.bib ファイル 216
 Windows タスク マネージャ (TaskMan) 104
 コントロール パネル 104
 サンプル コードの管理 115
 デバイス ドライバのためのフォルダ 228
 ドライバ グローバル 217
 ソース コードの構文チェック 67
 ソース コントロール ソフトウェア 12
 ソース ファイル 63
 コントロール パネル 106
 ソース ファイル指示子、デバイス ドライバ 267

ソフトウェア開発キット (SDK) 28
 新しいファイルの追加 29
 インストール 30
 構成と生成 28
 生成とテスト 38
 ビルド プロセスおよび 42
 ソフトウェア開発サイクル 153
 ソフトウェア関連エラー 155
 ソフトウェア例外 126
 ソリューション エクスプローラ 5, 43
 Dirs ファイル 63
 カタログ項目の依存関係ウィンドウ 6
 カタログ項目ビュー 5
 サブプロジェクトウィザード 15
 プロパティ ページ ダイアログ ボックス 7

た

ターゲット コントロール アーキテクチャ 156
 ターゲット コントロール コマンド 168
 ターゲット コントロール サービス 167
 Windows Embedded CE のロード 72
 接続 75
 通信パラメータの定義 72
 デバッガ オプション 74
 ファイル システムおよびシステム レジストリの初期化 49
 ターゲット コントロール シェル。CE ターゲット コントロール シェル (CESH) を参照
 ターゲット デバイス
 ターゲット デバイス コントロール 155
 ターゲット デバイスの欠陥 153
 ターゲット デバイスの接続オプション ダイアログ ボックス 72, 178
 ターゲット デバイスへの接続 75
 ターミナル サーバー 103
 OALTimerIntrHandler 関数 90
 SYSINTR_TIMING 割り込みイベント 90
 システム タイマ 88
 電源管理および 135
 ハードウェア タイマ 88
 ダイナミック リンク ライブラリ (DLL) 17
 C インターフェイス 105
 デバイス ドライバ 253
 タイマ
 タイマ イベント 284
 ダウンロード進行状況表示 222
 ダウンロード方法 72, 196
 Build.exe 61
 CE ストレス ツール 188
 CELogFlush ツール 173
 CETest.exe 186

Cetpar.exe 194
 Clientside.exe 186, 190
 CPU モニタ 188
 Filesys.exe 59
 FMerge (FMerge.exe) 71
 Heap Walker 155
 IL 測定 227
 ILTiming 90
 Kato.exe 186
 Kernel Tracker 155
 Nmake.exe 61
 OSBench 90
 PerfToCsv パーサー 194
 Process Viewer 155
 Readlog ツール 174
 Remote Kernel Tracker 173
 ROM イメージビルダ (Romimage.exe) 50
 Sysgen.bat 39
 Tux.exe 186
 Windows タスク マネージャ (TaskMan) 104
 アプリケーション検証ツール 171, 188
 ウォッチ ウィンドウ 170
 逆アセンブリ ツール 171
 コントロール パネル 104
 最近値シンボル一覧 171
 システム生成キャプチャ ツール 21
 自動変数ツール 170
 詳細デバッガ ツール 170
 詳細メモリ ツール 171
 スレッド ツール 170
 デバッグおよびテスト 153
 バイナリ イメージの作成 (Makeimg.exe) 50
 バイナリ イメージ作成 (Makeimg.exe) 39
 ブレークポイント 170
 プロセス ツール 171
 メモリ ツール 171
 モジュール ツール 170
 呼び出し履歴ツール 170
 リアルタイム パフォーマンスの測定 90
 リソース消費ツール 188
 リモート パフォーマンス モニタ 90, 94
 レジスタ ツール 171
 単一スレッド モード 296

ち

遅延 90
 ISR と IST 90
 遅延スタートアップ 101
 Svcstart サンプル 101
 逐次アクセス シナリオ 307

て

- ティック タイマ 90
- データ整合性 58
 - OS デザインの概要 3
 - インターナショナルライゼーション (国際化) 7
 - オペレーティング システム (OS) 1
 - カタログ項目 3
 - 環境変数 10
 - 言語設定 7
 - 高度な構成 11
 - サブプロジェクト 3
 - ファイルとディレクトリの構造 12
 - ブルド オプション 3
- データベース (.db) ファイル 49, 58
- デザイン
 - デザイン テンプレート 4
 - ARMV4I 31
 - Enterprise Terminal 103
 - PBCXML 構造 5
 - PDA デバイス 4, 31
 - カスタム 5
 - コンシューマ メディア デバイス 4
 - シンクライアント 4
 - スモールフットプリント デバイス 4
 - デザイン テンプレート バリエーション 4
 - デザイン再頒布 12
 - デスクトップのアプリケーション ショートカット 59
 - デスクトップのショートカット 59
 - テスト アクセス ポートおよび境界スキャン テクノロジ 196
 - テスト エンジン (Tux.exe) 186
 - コマンドラインパラメータ 192
 - テスト キット スイート (.tks) ファイル 189
 - テスト スイート 189
 - テスト結果ロガー (Kato.exe) 186
 - デッドロック 153, 168
 - ARMV4I 31
 - デバイス エミュレータ
 - デバイス エミュレータ (DMA) 73
 - デバイス クラス 142
 - デバイス コンテキスト 263
 - デバイス コンテキストの初期化 264
 - デバイス ドライバ 14
 - DllMain 関数 253
 - Iclass 値 275
 - IOControl 関数 254
 - OAL との間で共有されるリソース 236
 - アプリケーション呼び出しバッファ 303
 - カーネル モードの制約 279
 - 開発 251
 - コンテキスト管理 263
 - ストリーム ドライバ 253
 - ソース コード フォルダ 228
 - ソースファイル指示子 267
 - 通信用メモリ領域 237
 - デバイス レジスタ アクセス 237
 - 電源管理 295
 - 電源状態 133
 - 名前付け規則 258
 - ネイティブ ドライバ 253
 - バスを認識しない 313
 - ビルド 264
 - 複数層ドライバアーキテクチャ 254
 - ページング 253
 - ボード サポート パッケージ (BSP) および 211
 - モノリシック ドライバ 254
 - リフレクタ サービス 279
 - レガシ名 259
 - レジストリ エントリ 274
 - ロードおよびアンロード 257, 269
 - ロード手順 272
 - 割り込みハンドラ 284
 - デバイス ドライバ インターフェイス (DDI) 253
 - デバイス ドライバの移植性 310
 - デバイス マネージャ 88
 - 概要 257
 - シェル 257
 - ストリーム ドライバ相互作用 254
 - ブート時にデバイス ドライバをロード 272
 - レジストリ の設定 99
 - デバイス レジスタ アクセス 237
 - デバイス名 259
 - デバッグ オプション 74
 - デバッグ拡張コマンド (CEDebugX) 168
 - デバッグ 6, 153
 - CE ダンプ ファイル リーダー 170
 - Tux DLL 194
 - アセンブリ言語 198
 - エラー発生後のデバッグ 74
 - カーネル デバッグ 74
 - 条件式 166
 - シリアル デバッグ出力関数 219
 - 詳細 158, 166
 - ターゲット コントロール コマンド 168
 - デバッグゾーン 159
 - デバッグ メッセージのマクロ 158
 - ハードウェア デバッグ インターフェイス 74
 - ハードウェア補助 178
 - 不可欠なコンポーネント 157
 - ブート ローダー 198
 - ブレイクポイント 157
 - ボード サポート パッケージ (BSP) 177
 - 有効 177
 - リテール マクロ 158

リリースビルドからデバッグコードを除外 166
 割り込みハンドラ 183
 デバッグゾーン 159
 デバッグメッセージ (DbgMsg) 機能 155
 デバッグメッセージオプション 158
 デバッグメッセージサービス 157, 164
 デバッグメッセージの動的管理 158
 デバッグメッセージのマクロ 158
 ASSERTMSG 159
 DBGPARAM 変数 160
 DEBUGLED 159
 DEBUGMSG 159
 ERRORMSG 159
 RETAILED 159
 RETAILMSG 159
 デバッグゾーン 159
 デバッグのリテールマクロ 158
 DBGPARAM 変数 160
 dpCurSettings 変数 164
 SetDbgZone 関数 163
 Tux DLL 194
 すべて有効化 165
 ウォッチウィンドウ 163
 起動時にオーバーライド 164
 ダイアログボックス 163
 定義 162
 登録 160
 バイパス 160
 ベストプラクティス 165
 有効化と無効化 163
 レジストリ設定 164
 デバッグ領域
 デバッグ領域のベストプラクティス 165
 デマンドページング 53, 87
 電源オフ状態 238
 電源管理 88, 132
 電源状態
 I/O コントロール (IOCTL) 297
 Idle 電源状態 88
 InCradle 135
 OEM アダプテーション層 (OAL) 238
 アイドルイベント 238
 アクティビティタイマおよび 135
 アクティビティタイマおよび 135
 アプリケーションインターフェイス 140
 アプリケーションインターフェイス 140
 切り替え 238
 クリティカルオフ状態 238, 242
 構成 141
 コンテキストの切り替え 89
 再開ソースおよび 242
 サスペンド状態 238, 240
 サスペンド状態からの再開 241

システム 134
 システム電源状態 134
 制約 296
 単一スレッドモード 296
 通知インターフェイス 297
 デバイスクラスおよび 142
 デバイスドライバ 295
 デバイスドライバ 295
 電源オフ状態 238
 ドライバ電源状態 133
 電源管理 (PM.dll)
 テンプレートバリエーション 4

と

同期
 同期メモリアクセス 306
 統合化開発環境 (IDE) 5
 動的にマップされた仮想アドレス 235
 動的ホスト構成プロトコル (DHCP) 101, 198
 動的メモリ割り当て 128
 スレッド 109
 不意 166
 ドライバグローバル (DRV_GLB) 217
 ドライバ通信用共有メモリ領域 237
 ドライバ電源状態 133
 ドライバと OAL 間で共有されるリソース 236
 ドライバを動的にロードする 269
 トラップハンドラ 284
 ビルドの問題 69
 トラブルシューティング
 トランザクションベース保存機構 58
 トランジションルックアサイドバッファ (TLB) 224
 トランスポート機構 72, 74

な

内部テストアプリケーション 14
 名前付け規則、ドライバ 258
 Internet Explorer 4
 OS デザイン 3
 WordPad 4
 カタログ項目 3

に

入出力処理 235, 258

ね

ネイティブドライバ 253

は

- パーソナル エリア ネットワーク (PAN) 31
 - ハードウェア タイマ 88, 90
 - ハードウェア デバッグ スタブ (HdStub) 156
 - ハードウェア デバッグ インターフェイス 74
 - ハードウェア ブレークポイント 183
 - ハードウェア 依存コード 211
 - ハードウェア 衝突 153
 - ハードウェア 初期化タスク 220
 - ハードウェア の検証 95
 - ハードウェア 補助デバッグ 178
 - バイナリ ROM イメージ ファイル システム (BinFS) 198
 - バイナリ イメージ ビルダ (.bib) ファイル 49
 - AUTOSIZE パラメータ 52
 - BOOTJUMP パラメータ 53
 - COMPRESSION パラメータ 53
 - CONFIG セクション 52
 - FILES セクション 54
 - FIXUPVAR パラメータ 53
 - FSRAMPERCENT パラメータ 53
 - H フラグ 282
 - K フラグ 282
 - KERNELFIXUPS パラメータ 53
 - MEMORY セクション 51
 - MODULES セクション 54
 - NK メモリ領域 282
 - OUTPUT パラメータ 53
 - PROFILE パラメータ 53
 - Q フラグ 282
 - RAM_AUTOSIZE パラメータ 53
 - RAMIMAGE パラメータ 52
 - RESETVECTOR パラメータ 53
 - ROM_AUTOSIZE パラメータ 53
 - ROMFLAGS パラメータ 53
 - ROMOFFSET パラメータ 54
 - ROMSIZE パラメータ 54
 - ROMSTART パラメータ 54
 - ROMWIDTH パラメータ 54
 - S フラグ 282
 - SRE パラメータ 54
 - X86BOOT パラメータ 54
 - XIPSCHAIN パラメータ 54
 - セクション 50
 - ファイル タイプ定義 56
 - 不連続メモリおよび 52
 - 自動スタートアップ 50
 - 条件付き処理 56
 - バイナリ イメージの作成ツール (Makeimg.exe) 39, 50
 - パイプライン ステージがインターロックされないマイクロプロセッサ (MIPS) 293
 - 波形発生器 95
 - バス ドライバ 260
 - バス名アクセス 260
 - バス列挙子 (BusEnum) 272
 - バスを認識しないドライバ 313
 - バックライト ドライバ 27
 - バッテリーの著しい低下状態 238
 - バッテリーレベルがゼロになる 242
 - バッテリー寿命
 - バッファ マージャリング 279
 - バッファ処理 306
 - パフォーマンスの監視 87
 - アラート 95
 - チャート 95
 - 波形発生器 95
 - レポート 95
 - 割り込み遅延タイミング 90, 95
 - パフォーマンスの最適化 10, 87
 - 汎用インストール可能 ISR (GISR) 293
- ## ひ
- ヒープ 89
 - 東アジア言語 7
 - ビデオ メモリ 241
 - 非同期バッファ アクセス 300, 306
 - 表示項目依存関係 57
 - 標準コマンドプロンプト 48
 - 標準シェル 103
 - 削除 107
 - 非リアルタイム API 89
 - 非リアルタイム コンポーネント 87
 - ビルド ウィンドウを開くコマンド 48
 - ビルド オプション 3
 - ビルドオプション
 - 32MB を超えるランタイム イメージを許容 10
 - KITL を有効にする 10, 177
 - アクティブな OS デザイン 9
 - カーネル デバッグを有効にする 10, 177
 - 追跡されたイベントを RAM の中にバッファリングする 9
 - 追跡したイベントをリリース ディレクトリに書き込む 10
 - ハードウェアによるデバッグ サポートを有効にする 9
 - ブート中にイベントの追跡を有効にする 9
 - プロファイルを有効にする 10
 - メモリ上の Eboot スペースを有効にする 9
 - ランタイム イメージをフラッシュ メモリに書き込む 10
 - ビルド コマンド 45
 - 対応するコマンドライン 48
 - ビルド フェーズ 42
 - エラー 70
 - ビルド プロセス 39, 41
 - Platform Builder および 39

Visual Studio 43
 エラー 67
 環境変数に基づく指示子および 43
 コマンドライン ツールに基づくカスタム アクシ
 ョン 65
 コンパイル フェーズ 41
 システム生成フェーズ 42
 詳細なビルド コマンド 45
 標準コマンド プロンプトおよび 48
 ソフトウェア開発キット (SDK) および 42
 バッチ ファイルおよび 41
 ビルド フェーズ 42
 ビルド ログ ファイル 68
 ビルド結果の分析 67
 フェーズ 41
 ランタイム イメージの作成フェーズ 43
 リリース コピー フェーズ 42
 リリース コピー フェーズのスキップ 44
 リリース ディレクトリにファイルをコピー コマンド 44
 ビルド プロセス中のエラー 67
 ビルド プロセスのコントロール 43
 ビルド メニュー 43
 ビルド レポート 67
 リリース ディレクトリの作成にリンクではなく xcopy
 を使用する 10
 ビルド結果の分析 67
 ビルド構成管理 6
 .bib ファイル 49
 .dat ファイル 49, 59
 .db ファイル 49, 58
 .pbcxml ファイル 23
 .reg ファイル 49, 57
 .tks ファイル 189
 Bsp_cfg.h 288
 Build.err 67
 Build.log 67
 Build.wrn 67
 Ce.bib 50, 60
 Chain.bin 54
 Chain.lst 54
 Common.bib 50
 Config.bib ファイル 88, 235, 302
 Device.dll 257
 Devmgr.dll 257
 Dirs ファイル 61
 Eboot.bib 216
 Initdb.ini 60
 Initobj.dat 59
 Makefile ファイル 66
 Nk.bin ファイル 43
 Oalioct.dll 237
 Platform.bib ファイル 26, 54
 Platform.dat 59

Platform.reg 57
 Project.bib 50
 Project.dat 59
 Reginit.ini 60
 Sources ファイル 26
 Sysgen.bat 39
 Udevice.exe 279
 イメージ構成ファイル 60
 環境オプション 10
 クリーン システム生成コマンドおよび 48
 構成ファイル 15
 サブプロジェクト イメージの設定 18
 ショートカット ファイル 100
 詳細なビルドコマンド 26
 ソース コントロール ソフトウェア 12
 ソース ファイル 63
 ビルド オプション 9
 ビルド構成ファイル 61
 ビルド指示子 63
 プロジェクトのプロパティ 7
 ビルド構成のデバッグ 11
 ビルド構成のデバッグ 6
 ビルド構成ファイル 61
 非連続物理メモリ 235
 品質保証 153

ふ

ファイル
 ファイル システム (.dat) ファイル 49, 59
 ファイル システム API 257
 ファイル入出力処理 258
 不意のスレッド同期 166
 ブート ローダー
 ブート ローダーと OAL 間のコード共有 224
 ブート ローダーのスタートアップ エントリ ポイント 218
 ブート ローダーのメニュー 222
 ドライバグローバルおよび 217
 ブートストラップ サービス 156
 ブートの引数 (BootArgs)
 ブート引数 (BootArgs) 180
 ブート前のルーチン 196
 不揮発性データ記憶 58
 複数層ドライバ 255
 複数層ドライバアーキテクチャ 254
 複数のプラットフォームのサポート 11
 複数のプラットフォームをサポートするデザイン 11
 複製ウィザード 212
 物理メモリ アクセスの制約 302
 物理メモリの割り当て 302
 プラガ アンド プレイ 257, 292
 フラグ レジストリ値 276

フラッシュメモリ サポート 221
プラットフォーム デバイス ドライバ (PDD) 255
プラットフォーム固有ソース コード 215
フル カーネル モード 53
 BLCOMMON フレームワーク 197
 BootLoaderMain 関数 219
 BOOTME パッケージ 222
 Bootpart 198
 Eboot 198
 Ethdbg 215
 OAL との間でのコード共有 224
 アーキテクチャ 196
 アセンブリ言語 198
 イーサネット サポート関数 220
 イーサネット経由のランタイム イメージのダウンロード 220
 一般的なタスク 196
 カーネル初期化ルーチン 197
 シリアル デバッグ出力関数および 219
 スタートアップ エントリ ポイント 218
 テスト 196
 デバッグ テクニク 198
 ドライバ グローバル および 217
 ネットワーク ドライバ 198
 ハードウェア初期化タスク 220
 バイナリ ROM イメージ ファイル システム (BinFS) 198
 フラッシュメモリ サポート 221
 ボード サポート パッケージ (BSP) および 211
 メニュー 222
 メモリ マッピング 216
ブレイクポイント 157, 170
 Tux DLL 194
 制限 183
 設定数が多すぎる 183
 ハードウェア 183
 有効化および管理 181
 割り込みハンドラ 183
ブレイクポイントを設定 181
不連続メモリ 52
プログラム データベース (.pdb) ファイル 6
プロセス アドレス領域 232
プロセス ツール 171
プロセス および スレッド 109
プロセス間通信 233
プロセス管理 API 110
プロファイル タイマ サポート関数 227
プロファイル を有効にする 10
プロフェッショナルの Windows Embedded CE ソリューション 23

へ

ペガソス レジストリ キー 165

ほ

ポインタ パラメータ 304
ポインタ マーシャリング 305
ボード サポート パッケージ (BSP) 3, 177, 207
 fobK c[
 OEM アダプテーション層 (OAL) および 211
 開発時間の短縮 211
 既存の参照 BSP の複製 211
 コンポーネント 210
 シリアル デバッグ出力関数および 219
 設定ファイル 209, 211
 適応と設定 209
 デバイス ドライバ および 211
 デバイス ドライバのためのソース コード フォルダ 228
 ハードウェア依存コード および 211
 複製ウィザード 212
 フォルダ構造 213
 ブート ローダー および 211
 プラットフォーム特有のソース コード 215
 メモリ マッピング 230
ボード サポート パッケージ (BSP) のコンポーネント 210
ボード サポート パッケージ (BSP) のフォルダ構造 213
ボード サポート パッケージ ウィザード ページ 11
ホスト プロセス グループ 281

ま

マーシャル ヘルパー 305
マウス テスト 192
前処理条件 57
マッピング テーブル 223
 Windows Embedded CE Test Kit (CETK) 187
 キオスク モード 108
マネージャ アプリケーション
マルチピン イメージ通知 222

み

未キャッシュの仮想アドレス 234
ミューテックス 89, 117
 ミューテックス API 118

む

無限ループ 155
無通信のタイムアウト 238

め

- メモリ アクセス 300
 - 同期 306
 - 非同期 306
 - 例外処理 308
- メモリ ツール 171
- メモリ マッピング 216
- メモリ リーク 153, 168
- メモリ レイアウト 49
 - BSP のメモリ マッピング 230
 - カーネル領域 232
 - システム メモリからの予約領域 303
 - プロセス領域 233
- メモリ管理
- メモリ管理ユニット (MMU) 223, 233, 300
- メモリ分割ルーチン 198
- メモリマップされたファイル 233
 - ARM ベース プラットフォーム 233
 - DEVFLAGS_LOADLIBRARY フラグ 88
 - LoadDriver 関数 88
 - LoadLibrary 関数 88
 - MIPS ベース プラットフォーム 233
 - ROMFLAGS オプション 88
 - SHx ベース プラットフォーム 233
 - x86 ベース プラットフォーム 233
 - 基幹セクション 89
 - システム メモリ プール 89
 - システム メモリの再利用 89
 - 静的にマップされた仮想アドレス 234
 - デマンド ページング 87
 - 動的にマップされた仮想アドレス 235
 - 動的割り当て 128
 - ヒープ 89
 - 非連続物理メモリおよび 235
 - プロセス 89
 - ミューテックス 89
 - メモリ共有 87
- メモリ領域 232

も

- モジュール ツール 170
- モデル デバイス ドライバ (MDD) 20, 255
- モノシリック ドライバ 255
- モノシリック ドライバアーキテクチャ 254

ゆ

- ユーザー アプリケーション 97
 - ターミナル サーバー 103
- ユーザー データグラム プロトコル (UDP) 198
- ユーザー モード ドライバ 279

- ユーザー モード ドライバ ホスト プロセス (Udevice.exe) 279
 - アプリケーション呼び出しバッファ 303
 - レジストリ エントリ 281
- ユーザー定義テスト ウィザード 193
- ユーザー領域 230
- ユニバーサル シリアルバス (USB) 73

よ

- 要素
- 呼び出し履歴ツール 170

ら

- ランタイム イメージ 1
 - カスタム 設定を追加 49
 - 構成ファイル 60
 - コマンドラインからビルドおよび展開 48
 - コンテンツ 49
 - サブプロジェクトを除く 18
 - ダウンロード方法 196, 220
 - 展開 72
 - ビルドおよび展開 39
- ランタイム イメージから除く 18
- ランタイム イメージの作成フェーズ 43
 - エラー 71
- ランタイム イメージの展開 72
- ランタイム イメージをフラッシュ メモリに書き込む 10

り

- リアルタイム システムのデザイン 86
- リアルタイム パフォーマンス 87, 94
 - 測定 90
- リソース消費ツール 188
- リビルド コマンド 45
- リフレクタ サービス 279
- リモート デスクトッププロトコル (RDP) 4, 103
- リモート パフォーマンス モニタ 90
 - 拡張 DLL 94
 - 監視されるオブジェクト 94
- 領域定義 162
- 領域登録 160
- リリース コピー フェーズ 42
 - エラー 70
 - スキップ 44
- リリース コピー フェーズのスキップ 44
- リリース ディレクトリ 43
- リリース ディレクトリにファイルをコピー コマンド 44
- リリース ビルドからデバッグ コードを除外 166
- リリース構成 6, 11

リンカ警告およびエラー 67

れ

例外処理 125

カーネル デバッグおよび 126

メモリ アクセス 308

構文 127

レガシ名 259

レジスタ ツール 171

レジストリ (.reg) ファイル 49, 57

レジストリ キー 98

CELog レジストリ パラメータ 172

CELogFlush ツール 174

Clientside.exe 開始パラメータ 191

Console キー 102

DependXX エントリ 99

HKEY_LOCAL_MACHINE\Drivers\Active 273, 310

HKEY_LOCAL_MACHINE\Drivers\BuiltIn 272, 310

HKEY_LOCAL_MACHINE\INIT 98

HKEY_LOCAL_MACHINE\System\CurrentControlSet\ControlPowerInterfaces 297

LaunchXX エントリ 99

PCI 関連 312

Svcstart サンプル サービス 101

UserProcGroup レジストリ エントリ 281

イベント ログ記録ゾーン 172

コマンド プロセッサ シェル 102

サブプロジェクト 17

スタートアップ パラメータ 99

デバイス クラスおよび 142

デバイス ドライバ 274

デバッグ領域 164

フラグ レジストリ値 276

ペガソス レジストリ キー 165

メモリ関連 312

ユーザー モード ドライバ ホスト プロセス (Udevice.exe) 281

レジストリ設定

割り込みサービス ルーチン (ISR) 227, 285

IST および IST 間の通信 291

WaitForMultipleObjects 関数 288

アーキテクチャ 284

静的 288

デバイス ドライバ 284

ブレークポイント 183

カーネル配列 289

割り込み待機時間測定 227

割り込み待機時間測定 (ILTiming) ツール 227

割り込み遅延タイミング 90, 95

割り込みハンドラ

ろ

ローカル エリア ネットワーク (LAN) 31

ロケール 7

わ

ワークステーション サーバー アプリケーション (CETest.exe) 188

割り込み 284

OAL の同期機能 284

割り込みサービス スレッド (IST) 227, 285

